

令和5年度 学校評価項目一覧 と 学校関係者評価

柏市立柏の葉小学校					
(職員)学校評価項目	点 (9点満点)	(保護者)学校評価項目	点 (8点満点)	(児童)学校評価項目	肯定的回答(%) (4→6点満点換算)
		お子様の学年を選んでください。(複数選択可)		学年	
		お子様のクラスを選んでください。 (まとめて回答する場合は、一番下のお子様のクラスを選択してください)		クラス	
名前		お子様の名前を入力してください。 (まとめて回答する場合は、一番下のお子様の名前を入力してください)			
1 柏の葉小学校的教育活動全般に関して、児童や保護者は満足していると思いますか。	4.4	1 柏の葉小学校的教育活動全般に関して、満足していますか。	4.8	1 学校は楽しいですか。	89.8 5.0
2 学校教育目標の〈自主・自律〉に基づいた教育活動を意識的に展開しましたか。	4.5	2 学校経営方針に「自主・自律」を掲げていますが、お子様は、自ら判断して行動したり、学習やお手伝い、身支度などを進んで行ったりすることができますか。(完璧にできなくても構いません。)	4.3	2 自分のことは自分でしたり、できることを自分から進んで行ったりしていますか。	91.6 4.9
3 子ども達にとってわかりやすい授業を展開しましたか。	4.4	3 学校ではわかりやすい授業づくりに努めていますが、お子様にとってわかりやすい授業になっていると思いますか。	4.8	3 授業は分かりやすいですか。	93.5 5.1
				4 宿題や家庭学習を自分から進んでしていますか。	83.9 4.8
				5 学校以外の場で運動したり、体を動かして進んだりしていますか。	83.7 5.0
4 スポーツフェスティバルは、十分に子どもの成長に繋がる内容でしたか。	5.0	4 スポーツフェスティバルは、お子様の成長につながる内容でしたか。	4.8	6 学校行事などに自分からすすんで参加できましたか。	86.1 4.9
5 校外学習、林間学校、修学旅行は、十分に子どもの成長に繋がる内容でしたか。	5.1	5 校外学習、林間学校、修学旅行は、お子様の成長につながる内容でしたか。 (1年: 柏の葉公園、2年: 取巻温泉、3年: 市内めぐり、筑波山(航空博物館)、4年: 佐原、5年: 林間学校、飯盒炊飯、6年: 修学旅行)	5.2		
6 柏の葉小の児童が、自分から進んで挨拶ができるよう率先垂範しましたか。	5.0	6 お子様は、家族や地域の方、友だちに自分から進んで挨拶ができますか。	4.1	7 自分からすすんであいさつをしていますか。	89.0 5.0
7 電話や連絡帳、配付物、ホームページなどで教育方針や児童の様子を知らせることができましたか。	4.8	7 学校より、ホームページなどから、学校全体の方針やお子様の学習や生活の様子に分かりますか。	4.3		
		8 学校やPTAからの情報発信に関して、ホームページやメールを活用していますが、お知らせを受け取る利便性は高いと思いますか。	4.9		
		9 欠席や遅刻時の連絡を「つながる連絡」で行えるようにしていますが、これにより、欠席や遅刻連絡の利便性は高いと思いますか。	5.6		
		10 通知票を10月と3月の2回発行して、7月に個人面談、12月に教育相談週間を行い、年4回の授業参観を計画しましたが、お子様の学習や生活の様子を知ることができましたか。	4.8		
		11 夏休みや冬休み期間に一律の宿題がなかったことで、習得はできない休職や学習など、お子様の興味関心に従って学び、休養する時間は取れましたか。	4.3	8 夏休みの宿題はありませんでしたが、自分のやりたい学習ができましたか。	82.4 4.9
		12 柏の葉小中学校は、コミュニティスクール(学校運営協議会制度・地域とともにある学校)ですが、ご自身は子どもたちや学校のための活動に積極的に参加できたと思いますか。(PTA活動、放課後当番、清掃や読み聞かせ活動など)	4.0		
				9 クラスや学校のために係や当番、清掃などの仕事をがんばったり、誰かの役に立つ行動をしようとすることができましたか。	93.0 5.1
8 教師自身が危機意識を持ち、堂下校に関する安全指導を行ったり、安全点検では、危険箇所の早期発見に努めましたか。	4.8	13 柏の葉小中学校は、保護者・地域の力を借り、安全で安心な学校づくりに努めていると思いますか。	4.6	10 堂下校では交通ルールを守ったり、安全に気をつけて学校生活をすごしたりして、ケガや事故がないようにすることができましたか。	95.2 5.3
				11 自分には良いところがあると思いますか。	84.0 4.9
		14 放課後、習い事やクラブ、塾などに通っていますか。	[90%]		
		15 その他、学校に対して、様々な観点からお気づきのこと、前向きなご提案をお願いいたします。			
9 自分から同様に声をかけコミュニケーションをとることができましたか。	5.3	学校関係者評価			
10 「離・道・相」を適切に行って、学年や校内で情報共有ができましたか。	5.1	【アンケート結果から】 ○いずれも4以上の好意的評価を得ている。 ○「わかりやすい授業の展開」について、教職員がさらにによりよい授業をめざしている。また、児童の「授業がわかりやすいか」のポイント向上。(研修の成果) ○「あいさつ」については教師は率先垂範をしていると考えているが、効果は表れていない。ただ、挨拶ができていると思っている児童が少ないことから、課題を共有していることが窺える。引き続き気持ちの良い挨拶を進んでできるよう指導していく。 ○欠席連絡、手紙配付システムについて高評価を得ている。→来年度は全市共通のサービスを導入するので、活用方法について研究していく。 ○「自分には良いところがある」の値が上昇していることから、自己肯定感の向上が見られる。			
11 本校の職員に対しては話しやすく、相談しやすいと感じますか。	5.1	【今年度の課題と来年度の展望】 (1)児童数(家庭数)の多さ... 様々な児童がいる。(健康や家庭的なことなど様々な配慮が必要)、多様な価値観の存在 →公教育として児童の安全第一に、なるべく多くの人が納得して前向きに取り組めるような判断をしながら学校運営をしていく。 (2)教職員不足... 教員の未配属... → 「チーム学校」: 助け合い、各教師の力量・学校力のアップ (教職員研修) (色んな職種の職員がいる。勤務時間や仕事内容が違う。担任は教員免許保持者のみ。→ 保護者へ周知と、それぞれの立場での尽力) (3)コミュニティスクール「地域とともに教育を創造する学校」(ともに育てる: 共育) チーム: 教職員、保護者、地域、設置者、医療関係者、外部組織 (授業への参画: ミシンなどの実習支援、→ 子供の様子を見る利点も) 学校の管理外、時間外... 保護者や地域の力を(安全についての指導、見守りとともに)			
12 本校の管理職に対しては話しやすく、相談しやすいと感じますか。	5.1				
13 「不祥事は絶対に起こさない」という教育公務員としての自覚を持って運んでいますか。	5.7				
14 より良い学校(職場環境)につながりそうなアイデアや前向きな意見をお聞かせください。					
		(4)働き方改革の推進 →「笑顔で元気な先生」として子どもたちの前に立ち続けるために、校務の効率化を進め、時間外労働の削減に努める。			